

# Rd.16,17,18 OKAYAMA Race Report

2023 Nov 18-19th



 SUPER  
FORMULA  
**LIGHTS**

  
SEITA NONAKA



Helmet



# SPONSORS

有限会社 坂下組

HIRANO TIRE

ASURA

OSUSO

CUBE  
CONSTRUCTION  
TOTAL SYSTEM

ピアケリーニング  
Quality, Value, Ecology & Smile  
コインランドリー

Final Lap

AUTISTA  
RACING EQUIPMENT

air-J

LANDMASTER

KDCC  
KOBAYASHI  
DENTAL CLINIC

AUTOBACS  
東浦和店

9999

インパイヤ自動車株式会社

Arai  
HELMET

SEV

Tijo

NAKANE  
CHIROPRACTIC

EXGEL  
Motor-sports

SK MOTOR

DAY-YOU



# 苦しかった1年間 今年を締めくくる最終戦

## Practice

### DRY⇄RAIN

今シーズンもいよいよ最終戦となり、チャンピオンの可能性はなかったため、思い切ってレースに挑むことができた。

例年よりも遅い時期の開催となり、気温が低い中でのレースとなり、自分にとって得意

な状況下でのレースウィークとなった。

木曜日の最初のセッションではトップタイムを獲得。

しかし午後に向けてコンディションが良くなってくるとライバル勢のタイムが上がって混戦となった。

金曜日は雨となり、ドライでの走行イメージを保ったまま予選を迎えるために走行はせずに予選を迎えることとなった。

## Qualify

### DRY / Q1:5位 Q2:6位

金曜日の雨は上がり完全なドライコンディションでの予選となった。

雨上がりのため路面が悪い状態であると予測してセットアップを変更して挑んだ。

しかしトムス勢は4台ともに

苦しい予選となった。

Q1ではトムス勢トップから全体5位となった。

オーバーステア傾向が強かったためQ2に向けてセット変更。

しかしそれでもまだ合わせき

ることが出来ず、Q2は6番手で終えた。



# Race1

## DRY / 7位

前回岡山大会で課題ではレースペースが課題であったため改善すべく、ウォームアップ時のタイヤの温め方を工夫。その甲斐あり、スタートのトラクションが良く、前の選手

に並べかけるがオーバーテイクには至らず、順位変動なくオープニングラップを終えた。ペースは悪くないものの前方の選手との差を詰めきれず、

そのまま終始順位変動のない落ち着いた展開となり、決勝2に向けてのセット変更を意識してゴールまで運び5位でチェッカーを受けた。

### 予選1

Pos.	No.	Name	Car Name	Time
1	50	木村 伊織	HFDP WITH B-MAX Ra	1'43.285
2	2	小出 峻	HFDP WITH TODA Ra	1'43.805
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
5	35	野中 誠太	PONOS Racing TOM'S	1'44.000

### 予選2

Pos.	No.	Name	Car Name	Time
1	50	木村 伊織	HFDP WITH B-MAX Ra	1'43.277
2	52	イゴール・オオムラ・フラガ	FANATEC-GT WITH B-	1'43.457
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
6	35	野中 誠太	PONOS Racing TOM'S	1'43.650

### 決勝Round,1

Pos.	No.	Name	Car Name	Gap
1	50	木村 伊織	HFDP WITH B-MAX Ra	
2	53	菅波 冬悟	B-Max Engineering 320	2.754
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
7	35	野中 誠太	PONOS Racing TOM'S	11.398



## Race2

### DRY / 4位

決勝1で使用した中古タイヤを使用。

ダウンフォースを前後共に増やすセットアップを施して出走。

スタートは決勝1と同様蹴り出しがよく、1台をパス。

その後は順位変動はなく落ち着いた展開となった。

タイヤの摩耗が思いの外激しく、ドライビングで大きくアジャストする必要がありレース中に工夫を加えていった。そのまま順位変動なく5番手

でチェッカーを受けたが、レース後、前でゴールした選手にペナルティが出たため1ポジション繰り上げの4位となった。

## Race3

### DRY / 7位

残しておいたフレッシュタイヤで出走。

スタートの蹴り出しが良く、1コーナーでアウトからオーバーテイクを試みたものの、目の前の選手が行き場を失い急減速したのに対して避けき

れず追突してしまい、自分も失速。そのうちに2台にパスされ7番手でオープニングラップを終えた。

レースペースは前の選手より良かったものの、接近するとダウンフォースが抜け

てしまい、オーバーテイクの間合いに入り込めず、そのまま7番手でチェッカーを受けた。





# RESULT

## 決勝Round.2

Pos.	No.	Name	Car Name	Gap
1	50	木村 伊織	HFDP WITH B-MAX Ra	
2	52	イゴール・オオムラ・フラガ	FANATEC-GT WITH B-	6.572
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
4	35	野中 誠太	PONOS Racing TOM'S	13.103

## 決勝Round.3

Pos.	No.	Name	Car Name	Gap
1	53	菅波 冬悟	B-Max Engineering 320	
2	50	木村 伊織	HFDP WITH B-MAX Ra	2.365
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
7	35	野中 誠太	PONOS Racing TOM'S	15.214

# スポンサーの皆様へ

今回も多大なる応援ありがとうございました。

リザルトとしては満足のいくものではありませんが、岡山、茂木大会では予選でチーム内トップを記録するなど、前半戦に比べて大幅に改善が見られました。

今年一年苦しい中で、ドライビングやマシンセットアップなど様々なことを試行

錯誤したことが自分の実力につながっていると信じて来シーズンに向けて準備をしていきたいと思えます。

なかなか結果が出ないシーズンでしたが、どんな時も変わらぬご声援ありがとうございました。

今年一年間大変お世話になりました。